

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
	地域活性化措置	創造の森上野村フェス ティバル運営補助事業	上野村	1,100,000	1,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
	地域活性化措置	創造の森上野村フェスティバル運営補助事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		上野村		
交付金事業実施場所	群馬県多野郡上野村大字勝山地内			
交付金事業の概要	上野村木工家協会主催イベント「創造の森上野村フェスティバル」への運営補助			
総事業費	1, 100, 000	交付金充当額	1, 000, 000	
		うち文部科学省分	-----	
		うち経済産業省分	1, 000, 000	
交付金事業の成果目標	本村では昭和40年代から木工作家の育成に力を注いでおり、本村の基幹産業となっている。しかしながら、景気が低迷する中木工品の販売額も年々低下をたどっている。このため、新たに木工品の販路を拡大するため村内の木工作家で作る団体が行っているイベントに補助をおこなっているが、こちらの来訪者も年々頭打ちとなっている。本村の基幹産業である木工業の更なる発展のため、広告宣伝に力を注ぐと共に、ただ製品を売るだけではなく、子どもたちが木とふれあえる体験コーナーを新設するなどして、いままですあまり見受けられなかった、親子連れにターゲットを絞り来場者の増員をはかる。			
交付金事業の成果指標	H28年度対比20%増員 (H28実績 2, 447人→H29 3, 000人)			
交付金事業の成果及び評価	今回の創造の森は2日目に台風が接近したことから、2日目の午前中までの開催となり、その影響を受けて、来場者数は800人であった。自然災害のため致し方ないところはあるが、来場者を増員させる目標は達成できなかった。多くの方に来場いただき、村の地場産業である木工のアピールの場としていくため、今後については、開催時期の見直しを含め検討を促すとともに、村としても協力体制を強化して来場者の増加を目指したい。			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	補助	補助	-	1, 000, 000

成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	
予定なし	
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	予定なし

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
	地域活性化措置	上野村交流促進用車両整備事業	上野村	3,186,000	3,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
	地域活性化措置	上野村交流促進用車両整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		上野村		
交付金事業実施場所		群馬県多野郡上野村大字川和11番地		
交付金事業の概要		交流促進用車両整備事業（10人乗車両）		
総事業費	3,186,000	交付金充当額	3,000,000	
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分	3,000,000	
交付金事業の成果目標	<p>本村では、観光産業の振興の一環として、村で運営している木質バイオマス事業の視察や、心と体の健康づくりを行うための森林セラピーなどといったイベントや日帰り入浴施設の利用を促すため、村外への送迎を行っている。現在は、マイクロバスを利用しているが、送迎の利用者は10名以内となっている。マイクロバスの運転は、中型免許が必要なため、運転できる人員が限られてしまい運転手の都合によっては運行ができないこともしばしばある。このため、普通免許で運転が可能な車両を購入し、観光産業の更なる振興を促すことを目標とする。</p>			
交付金事業の成果指標	送迎利用回数（3月～5月） 前年比 200%（2回→4回）			
交付金事業の成果及び評価	<p>本年は春先の天候に恵まれたため、スケジュールどおりにイベントを実施することができ、4月～6月の間で16回も導入車両を活用する機会に恵まれた。特に森林セラピーについては、車両の導入により少人数でも対応が可能となったため、昨年度は2回の開催だけであったが、今年度は8回実施することができた。現在もコンスタントにツアーの申込みがあるため、今後稼働率は更に上昇することが見込まれる。</p>			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	車両売買	指名競争入札	群馬トヨペット（株）藤岡支店	3,186,000

成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	
予定なし	
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	予定なし

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
	地域活性化措置	上野村図書館運営事業	上野村	5,926,287	5,500,000	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
	地域活性化措置	上野村図書館運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		上野村		
交付金事業実施場所	群馬県多野郡上野村大字新羽地内			
交付金事業の概要	図書館の運営及び蔵書等の購入			
総事業費	5,926,287	交付金充当額	5,500,000	
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分	5,500,000	
交付金事業の成果目標	<p>本村では「栄光ある上野村の建設」を目標とし、その目標を達成するため①健康水準の高い村、②道徳水準の高い村、③知的水準の高い村、④経済的に豊かな村、の4つの柱を掲げている。</p> <p>②・③の柱を達成するため古くから図書館の建設が望まれていたが、平成22年度に村内初となる図書館を建設した。開設当初は延べ利用人数が年々増加していたが、ここ数年は頭打ちとなり、前年比マイナスとなる年もあった。この原因の一つとして、蔵書数の少なさが挙げられる。本図書館の蔵書数はH28年度末で約16,000冊となっているが、日本図書館協会が定める望ましい蔵書数は50,000冊であり、大きく乖離している。このため、図書館の運営費に交付金を充当し、蔵書を増加させたい。また図書館司書を中心として、乳幼児への読み聞かせなど実施しているが、更なる催し物を実施し、利用者を増加させることで公共の福祉の向上を図りたい。</p>			
交付金事業の成果指標	利用者のべ人数前年比5%増 (H28年度 2,500人 →H29年度2,630人)			
交付金事業の成果及び評価	平成29年度利用者のべ人数は2,618人と、わずかに成果指標に届かなかった。この原因としては、閉館日が前年度より10日程度増加したことや、人口の減少(1,267→1,204)が考えられる。しかしながら、乳幼児やその保護者のべ利用者数は前年度より増加していることから、引き続き児童書の充実を図るとともに、図書館の利用率が低い30歳台～50歳台の働き盛り世代をターゲットとした蔵書の充実をあわせて実施したい。			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	運営費	運営費	-	5,926,287
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			予定なし	

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
	地域活性化措置	上野村農産物販売管理 等備品整備事業	上野村	8,294,400	8,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
	地域活性化措置	上野村農産物販売管理等備品整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		上野村		
交付金事業実施場所	群馬県多野郡上野村大字勝山地内			
交付金事業の概要	販売管理システムの導入			
総事業費	8,294,400	交付金充当額	8,000,000	
		うち文部科学省分	-----	
		うち経済産業省分	8,000,000	
交付金事業の成果目標	現在本村で整備を行っている「新道の駅」内において、村で生産している農産物や各種加工品の直売所を設置する予定である。現在の道の駅においても農産物等の販売を行っているが、在庫管理については、生産者個人が道の駅に出向いて行っており、観光客が多い時期になると、品物の欠品期間が長期間に及ぶこともある。今回新たに導入予定である販売管理システムについては、システム上で在庫管理が可能となり、インターネットやメール等で生産者がリアルタイムで在庫状況を確認することができ、欠品となる前に補充が可能となる。欠品となる期間が短くなることで、売上が増加し、農業者等の所得の増加に繋げたい。			
交付金事業の成果指標	道の駅での農産物等の売上高 前年4月～6月平均10%増額 (1,300千円→1,430千円)			
交付金事業の成果及び評価	運用当初は生産者もシステムの活用方法に不慣れなこともあり、前年度比7%増であったが、6月は16%増となり、平均で約10%増の1,427千円となり概ね成果指標を達成することができた。若干成果指標に届かなかった原因としては、道の駅全体の再整備を進めており、工事の影響で駐車場が限られたことが考えられる。農産物の販売状況がその日のうちに分かるようになったことにより、生産者も出荷量の調整ができるようになり、売上高も徐々に上向いている。今後システムの活用が進むことで、農業者等の所得が向上することが期待できる。			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	販売システム整備	指名競争入札	サンデンエンジニアリング(株)	8,294,400

成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	
予定なし	
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	予定なし